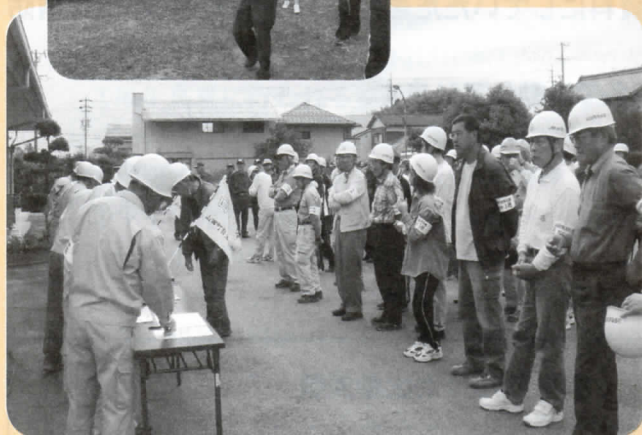


防災 おやまだ

平成21年3月20日発行

第5号

小山田地区防災連絡協議会



山田町防災訓練 9月28日

震度6強の地震発生を想定。煙を発生させ、その中での避難や放水・消火訓練、AEDの講習、竹を使っての担架作成、テント張りの練習などを実施。



小山町防災訓練 11月9日

町内放送による避難誘導、地内各所にて様々な防災訓練を実施。

防災ビデオで研修し、防災活動や訓練の継続を地域住民によびかけた。

訓練で命を守る

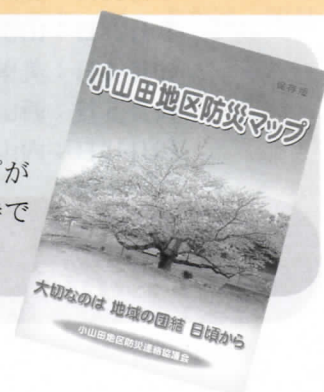
小山田地区防災連絡協議会 会長 萩 伸元

地震は毎日、全国どこかで起きています。今後30年の間には、必ず大災害があるだろうと予測され、準備を進めるよう市からも強く要望されています。私たちは、14年前の阪神淡路大震災を教訓として、災害に備え、取るべき行動を地域で勉強することは、大変意義のあることだと思います。災害時に起こりうる問題点を想定し“自分の命は自分で守る”には定期的な訓練しか、よい方法が見当たりません。地区の全町には自主防災組織があり、自治会と消防団がたえず連携しての訓練は、大変有益なことであり、進んでの参加をお願いしたいと思います。

地区防災連絡協議会は、これらを踏まえ活発な活動をしています。意識啓発には「防災標語」を募集。家族で話しあった、りっぱな作品が多く寄せられました。優秀作は、毎年1枚のカレンダーにまとめ全戸配布。年中各家庭での防災啓発に役立っています。これからも災害のないことを祈りつつ、明るく住みよい小山田にするため、温かいご支援と力強いご協力を心からお願いします。

小山田地区防災マップ発行

防災マップ作成委員をはじめ、多くの方々のご協力で、小山田地区防災マップが完成し、各戸配布しました。平常時での防災・危機管理の強化に、また災害時での減災にこの防災マップを役立て、ご活用くださることを望みます。



小山田消防分団の活動

男女消防団員を求む！

あなたは、消防団員なんて無理だ、と思っていませんか？

三重県庁ホームページ内、eモニター（電子アンケート）で2008年2月に実施された「消防団に関するアンケート」によれば、消防団の活動内容がよく知られていない、広報活動が十分でないとの結果でした。消防分団員の募集にあたり、応募のための参考資料にさせていただきたく、2008年度の小山田消防分団の活動を紹介いたします。

現在、小山田消防分団は、伊藤忠夫分団長ら、団員22名で活動しています。

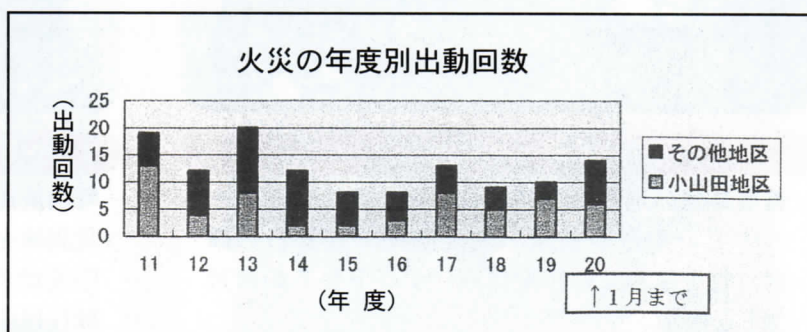
1. 消防分団の活動

（1）火災の消火活動

火災では、昼夜の区別なく携帯電話・メール（分団員がサイレンを鳴らす時がある）で召集され、消防車で出動し、消防署と協力して消火活動にあたります。

また、火が消えた後の残火警戒も消防分団の大事な活動です。

因みに、近年の出動回数はグラフのようになっています。



（2）風水害などの活動

台風や水害発生時には、団員は分団車庫に詰めて、地区内の警戒や防御活動にあたります。

幸いにも2008年は台風の上陸がなく、8月28日の大雨警報警戒1度の出動で済みました。

（3）防火・防災啓発活動

①消火・防災訓練、救命・応急手当の指導、防火・防災啓発活動を行いました。

2007年度から、地区全体の訓練は廃止され、町別訓練に移行しました。2008年度は、小山田地区全9町で実施されました。

9月21日：鹿間町	11月9日：小山町
9月28日：山田町	11月23日：堂ヶ山町
10月4日：美里町	11月30日：和無田町
10月5日：西山町	1月11日：六名町
10月12日：内山町	



災害時における市からの情報の伝達方法

○防災行政無線 ○広報車 ○市ホームページへの掲載 ○四日市あんしん防災ネット（Eメール）

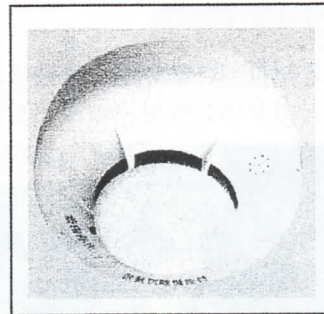
②法律で義務化された「住宅用火災警報器」設置の広報をしました。

家庭内での火災の発生をいち早くキャッチし、逃げ遅れの犠牲者を減らす切り札です。

まだ設置をしていない家庭では早急に設置をお願いします。

最近のホームセンターの折り込みチラシでは、3000円を切る手ごろな値段になっています。

【住宅用火災警報機】



(4) その他の主な活動・行事

①消防車のポンプ点検、無線テストを毎月2回定期的に行っています。

②毎年1年間をかけて、小山田地区内の全消火栓、防火用水の点検を行っています。

③毎年真夏に行われる消防操法競技大会（2008年は7月20日）へ向けて、汗水を滴らせて繰り返し練習を行いました。密かに優勝を狙っていましたが、残念ながら良い成績は残せませんでした。

④出初式（今年は1月11日）とその訓練・練習に参加しました。

⑤今年の分団研修旅行は、四国と淡路島に行きました。特に、北淡震災記念公園の訪問では、昨年2月1日に小山田地区防災連絡協議会の主催で「青山里会びあホール」で行われた防災講演会「野島断層からのメッセージ」の講師であった米山副館長の懇切丁寧な説明を受け、阪神淡路大震災の教訓を改めて学び、団員一同防災意識の高揚が図れた有意義な研修となりました。

⑥その他の活動・行事も多数あります。

全てを含めると2007年度は130件を超えました。2008年度もほぼ同様な件数となる見込みです。従って、大部分はそれぞれ団員が分担して活動しています。

2. 消防団員の募集

小山田地区在住、または勤務している方で、18歳以上の健康な方であれば入団できます。

男性消防団員を募集しています。 活力ある若者の力を是非消防団活動に注いでください。

今年度より **小山田分団も女性分団員の募集を始めました。**

全国では、消防団員が減少する中、女性消防団員は増加を続けています。四日市市には、防火・防災啓発活動を中心に活動する女性だけの「サルビア分団」があります。

自分たちの町は自分たちで守る！今日も地域の安全を消防団が守っている。消防分団の活動を理解いただき、**消防団員に応募して下さい。元気のある方の入団を待っています。**

入団は、自薦・他薦を問いません。お問い合わせは地域の団員・小山田地区市民センターまたは、四日市市消防本部消防救急課（Tel356-2005）までお願い致します。

私たちの防災訓練

活動の記録

鹿間町 9月21日

町内を3ブロックに分割、班編成による危険箇所の点検などのタウンウォッチングを実施。



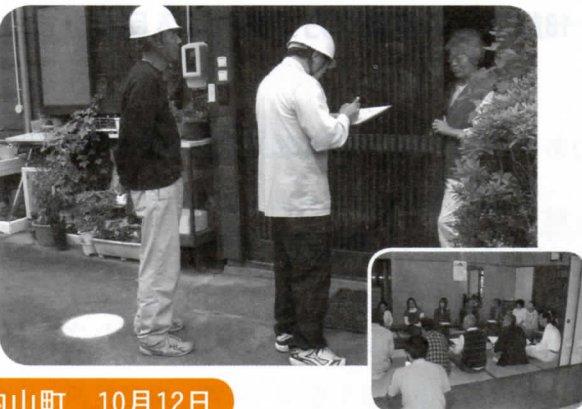
美里町 10月4日

消火器や貯水槽より取水しての消火訓練を行い、日頃の防災への意識徹底を図る。



西山町 10月5日

自主防災隊員の家庭訪問による防災アンケートを実施。そのデータをもとに防災への備えを再検証。



内山町 10月12日

消火栓や消防団ポンプ車で川から取水しての放水訓練。女性や高齢者の方々を重点的に指導・訓練を実施。



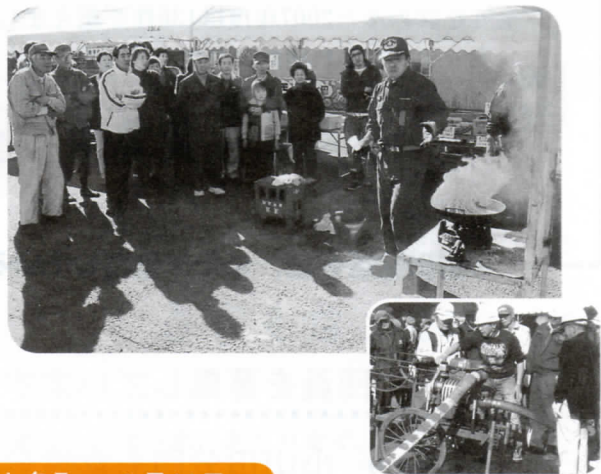
堂ヶ山町 11月23日

防火水槽・消火栓からの取水・放水訓練や地域のポンプ車の取り扱いの説明や指導を受ける。



和無田町 11月30日

町内清掃後、東西南北4地区が防火水槽・消火栓からの取水・放水訓練、てんぷら火災の消火、切り出した竹と毛布を使つての簡易担架づくりを順番に行った。



六名町 1月11日

集会所で、てんぷら火災や枯れ草火災の消火訓練、町内3ヶ所にて放水訓練を実施。厳しい寒さの中多数参加。

